



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第413号

2022年7月31日 アベイヤ司教公式訪問

アベイヤ司教による主日ミサには多くの信徒が参列して、司教のお話を聴きました。

日本は今週から平和旬間に入ります。戦争とコロナ禍による断絶の時、世界が平和で一致することが今ほど大切なときはありません。

ロシアとウクライナの戦争は、人間の欲望が世界の秩序を壊し、いのちと自然環境を破壊していく事に深い悲しみと憤りを感じます。

私たち信徒一人一人が一日も早い戦争の終結と平和を祈りましょう。



ミサ式次第変更箇所(3).....	2・3面
今月の聖人.....	3面
旅の話(8).....	4面
教会学校.....	5面
幼稚園から.....	6面
委員会等報告.....	7・8面
お知らせ.....	8面

2022年11月27日より実施される

ミサ式次第の変更箇所について(第3回)

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

『新しい「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」カトリック中央協議会 p26～

—開祭—

ことばの典礼

※ミサは大きく分けて「ことばの典礼」と「感謝の典礼」との2つの部分で構成されており、2つの食卓を中心に展開します。この2つの食卓から振る舞われるものこそ、みことばであり、過越しの神秘としての主のいけにえです。つまり、朗読台は聖書によって振る舞われるみことばの食卓、祭壇はわたしたちのためにいけにえとして捧げられる主の最後の晩餐の食卓ということなのです。よって、朗読者、詩編唱者、共同祈願の唱者が朗読台において奉仕することには大きな意味があります。

<第一、第二朗読>

「朗読者は朗読台に行き、第一朗読、第二朗読を行う。朗読の終わりを示すため、朗読者は手を合わせてはっきりと唱える。」

●朗読者：「神のみことば。」

会衆：「神に感謝。」(p.26)

「続いて、朗読者は聖書に一礼して席に戻る。一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。」

※読み終わりの言葉もそうですが、所作が明記されたのでご注意ください。朗読者は読み終わったら手を合わせてはっきりと「神のみことば」と言い、会衆全員で「神に感謝」と呼応する形となります。これまで「神に感謝」は侍者が言っていましたが、あくまで会衆全員で呼応することになるということです。朗読聖書を持ち上げることもしません。朗読台を離れるとき、朗読聖書に一礼することもお忘れなく。そして、朗読者が席に戻ってすぐ答唱詩編に移るのではなく、みことばを味わうための沈黙の時間を取ることも考慮されなければなりません。

<福音朗読>

●司式司祭：「主は皆さんとともに。」 会衆：「またあなたとともに。」

司式司祭：「〇〇〇による福音」 会衆：「主に栄光。」(p.28)

「助祭あるいは司祭は、朗読福音書、額、口、胸に十字架のしるしをする。会衆ははっきりと唱える。福音朗読が終わると、助祭あるいは司祭は朗読福音書を両手で掲げてはっきりと唱える。」

●司式司祭：「主のみことば。」 会衆：「キリストに賛美。」(p.28)

※『ローマ・ミサ典礼書の総則』の134番には、助祭や司祭が額、口、胸に十字架のしるしをする際にすべての人も同じようすることが明記されていますので、会衆も助祭や司祭と同様に十字架のしるしを額、口、胸に刻まなければなりません。また、福音朗読の後、助祭や司祭はこれまで「キリストに賛美」と言い、会衆がその言葉を繰り返していましたが、今回、助祭や司祭の言葉が「主のみことば」に変更されました。釣られて「主のみことば」と言わないように注意して下さい。

<信仰宣言>

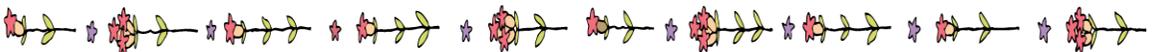
※信条文は「ニケア・コンスタンティノープル信条」か「使徒信条」を用いますが、キリストの受肉の神秘について述べる部分において一同は礼をすることが明記されました。具体的な所作として、聖母マリアからお生まれになったことを宣言する部分まで礼をしたままということになります。また、司式司祭は全員で唱え始めるために、「〇〇〇信条を唱えます」と勧めるようにします。

●司式司祭：「〇〇〇信条を唱えましょう。」 全員：「天地の創造主・・・おとめマリアから生まれ・・・。」(p.30~31)

<共同祈願>

※共同祈願は、いわゆる“信者の祈り”です。集まった信者の心を一つにして捧げるため、長いものではなくて短くまとめられた表現を用いる必要があります。なお、神に捧げる祈りなので、神がわたしたちにとってどのような方なのかを意識したうえで、より支えていただけるようにと懇願することになります。そのため、呼び集められたわたしたちが、神のみ旨に答えるための決心を表明することも大切な要素です。(p.31)

次号に続く



今月の聖人

19日 聖ヤヌアリオ司教殉教者 ?-305年

ヤヌアリオは、イタリアのベネヴェントで生まれました。ローマ皇帝ディオクレティアヌスの迫害のときに、その地の司教であった彼は、数人の助祭や信徒とともに捕えられました。ヤヌアリオは信徒たちを励まし、ポッツオリに送られ、そこで殉教しました。遺体は、413年にナポリの郊外のカタコンブに移されました。彼はナポリの守護の聖人といわれ、その絵はシュロの葉と開いた本を持って描かれています。

旅の話 (8)

岩本光弘

山に登るために色々な所に行きました。山のふもとを歩くことだけのこともあります、どこに行ってもキリスト教会を直接見なくても、その影響にある何かを見ます。

集落を歩いている子供たちの制服がミッションスクールのものだとすぐにわかることもあります。ケニアのキリマンジャロの麓の集落では、マサイ族の装束の人の横をミッションスクールのスクールバスが走っていました。朝に泊まったホテルの外に出るとヤシとバナナの林のそばで教会の鐘の音を聞いてびっくりしたのを思い出します。

イスラム教が中心の国にもほとんどキリスト教の教会があるのには驚かされます。二億人のイスラム教徒がいるインドネシアにも 800 万人近くのカトリックの信者がいるのです。そのような国で信仰を守るのは難しいようです。そのため同じ信仰を持っている人たちだけで町ができています。古賀教会のシュド神父についてスリランカに行ったとき、神父の実家のある地域は広大な範囲がカトリック信者だけの町でした。町には教会もあり学校もありました。日曜日のミサには聖堂に 1000 名位の人が出席していました。水巻教会に来ているベトナム人の青年に聞いてみるとベトナムでもそのようになっているそうです。

信仰と政治は関係ないと私は思いません。イエス様の受難から始まってローマ帝国におけるキリスト教徒への迫害など、昔から今も信仰を守るためには政治は大きな影響があると私は思っています。しかし、政治に対する関心は信徒それぞれが自由な考えで良いと思います。

カトリック教会の中ではいろいろな考え方があるのを実感しています。それがカトリック教会の良いところだと思います。個人がそれぞれの考え方で信仰を育んでいくべきだと思いますが、現実には起きていることから目を背けることは正しくないと思います。

今年の春はロシアによるウクライナへの戦争が一番のニュースでしたが、ウクライナはヨーロッパの国への他国の侵略なので世界中の注目が集まりました。しかし中東の国やアジアの国では今も紛争が続いています。ウクライナの戦争報道が始まるとたくさんの国の紛争で苦しむ難民や避難民のことは忘れられました。これらの国はイスラム教徒や仏教徒が中心であり、自国内での戦争であるため、なおさら私たちの関心は薄いのかもかもしれません。その争いの中に私たちと同じ信仰を持っている沢山のキリスト教徒が含まれているのです。

九州各地の教会のミサにベトナムから来た青年たちが沢山来るようになりました。特に多いのは、福岡市周辺(大名町・箱崎)、久留米教会、手取教会、都城教会、南宮崎教会、大分教会です。福岡市の教会には留学生がたくさん来ていて、技能実習生の割合は少ないようです。

大分のファムの神父から聞いたのですが「ベトナムは共産党の国なので就職する時に提出する書類の宗教欄にキリスト教徒と書くと不採用になる事例が多いので技能実習生として来日する者が多い。国民の8%がカトリック信者なのに技能実習生の 30%くらいがカトリック信者だ」という話でした。水巻教会に来る青年たちもそのようなのでしょうか。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 9月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

教会の工事が始まり、夏休みのお預りに来ている子ども達は、工事車両に目を輝かせて見えています。クレーン車を見て「大きいね」と嬉しそうにお話をしていました。

幼稚園で飼育しているカブトムシも成虫になり、元気に動き回る姿を観察したり、絵を描いたり、餌をあげたりしています。夏は、様々な虫と出会うことができ、お家で出会った虫のお話しもしてくれます。秋も沢山の虫に出会えることが楽しみです。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>



7月20日から水遊びが始まりました。朝から気温が28~29度ある日は、水温も28度~29度ありました。今年は、夜中も気温が下がらないようです。

容器の水を上から注ぎ水車を回したり、ベランダのグリーンカーテンの朝顔やゴーヤに水やりをしました。又、噴水にかかったり、金魚すくいをしたりしました。

8月に入り、体調不良のため、水遊びができない子どもが増えました。酷暑の夏!! 冷房の中での生活は、自然の力で成長している時期の子どもには、折り合いの難しい非自然環境のようです。

涼しい風さん、早く来て!!

TEL : 050 5212 7759

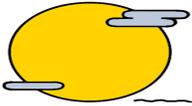
HP : マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同





教会学校の取り組み



7月31日。

アベイヤ司教様が水巻教会にいらっしゃいました。
この日のミサは司教様自らが司式をとられました。
ミサ後は聖堂内で司教様を囲んで集合写真。



その後、コロナ禍ではありますが、久しぶりに「ふれあい会」が用意した飲み物を囲んでのおしゃべり。教会学校の子ども達も参加して、楽しいひと時を過ごしました。

教会屋根工事の進捗情報

7月25日から始まった屋根の改修工事。写真は8月21日時点での工事進捗状態です。暑い最中にもかかわらず、工事関係者の汗と努力で工事は順調に進んでいます。工事内容と経過は、次号でお知らせします。



委員会等報告

2022年8月分

8月度小教区委員会 8月7日

1. 行事予定

- ・9月 4日(日) 小教区委員会
- ・9月11日(日) 新しいミサの式次第のための研修会②(教会学校を兼ねる)、聖書のかち合い。
- ・9月18日(日) 敬老のお祝い会
- ・9月25日(日) 教会学校・こころの会

2. 議題

(1) 各委員会報告

①納骨堂委員会

・納骨堂内のカーテン、イエス像のご絵を取り替えたい(あまりにも堂内の暗さが目立つので)。

・永代供養の対象となっているご遺骨の管理について(奉安室の位置づけについて)曖昧なので、以前、納骨堂管理委員会の委員長を経験した方に確認を取ることとする(納骨室を使用されている方で連絡の取れない人が既にいることも念頭に置く必要がある)。

②広報委員会

・Facebookの利用について、8月7日ミサ後に説明会を行った(QRコードを読み取ることによって情報を得る作業はうまくいかなかったため、直接、検索をする方法を勧めたい)。今後は小グループを対象に説明会を開く。

③営繕委員会

・8月14日のミサ後、新しい鐘楼に鐘を取り付けたい。信徒会館内の蛍光灯を順次LEDのものに交換したい(保安灯と一体化している蛍光灯もあるため、どのように作業を進めるか検証する)。

・掲示版には限られた枚数しか掲示できないので、掲示物の掲示、撤去の判断は主任司祭に一任したい。

④冠婚葬祭の会

・8月28日ミサ後こころの会終了後に拡大委員会を開く(今後の冠婚葬祭に関わるこのため)。

⑤典礼委員会

・9月11日、10月9日、11月13日(月の第2日曜日)のミサ後、中断していた待降節から適用される新しいミサの式次第についての研修会を行う。「ともにささげるミサ」をもとに作成していただいたしおりを活用する(当日、配布する)。

⑥総務委員会

・図書室内の書籍の整理がほぼ終わった(貸し出しも再開している)。

・9月18日の敬老の祝いのために集計した人数は107名。トラピストのクッキーとともに主任司祭と小教区委員長からのメッセージ文を添えてお渡しする。

(2) 全信徒の名簿整理について

・敬老の祝いの対象となる方々(75歳以上)の人数把握のため、各地区より対象者の名簿を提出していただいたが、これを皮切りにして全信徒の名簿を整理する(教会に保管されている「信徒籍名簿」と照合させるため)。については、全信徒名簿を整理して最新版のものとするために、各地区それぞれの名簿を管

理している地区委員と協力下さっている方と主任司祭とで照合作業を行う(そのためには、一旦、各地区で管理している名簿をすべて集める必要がある)。作業日時は主任司祭と調整して地区ごとに作業を進める(10月末までには完成させる)。

(3) その他

・ミサが9時半～のみに戻ったことを受け、掃除当番も各地区で回すこととする(第5日曜日はすべての地区で)。

・『福岡教区 宣教司牧方針』を受けて吸い上げた意見に基づき、今後、以下のような動きを活発化させる。

1、ベトナムの青年たちと教会学校の子どもたち、邦人青年たちとの交流会を定期的に関く。

- 2、引き続きベトナムの青年たちとのパイプ役として小教区委員会にリーダーを招き、相互の意志の疎通を図る(彼らからの要望に応えるためにも)。
- 3、ベトナム語のミサはそのままに、普段の主日ミサにおいてもベトナムの青年たちが活躍する機会を提供する。
- 4、(コロナ禍の状況を踏まえて)聖歌隊主導による聖歌練習の実施を行う。
- 5、教会から離れている人やキリスト教に興味のある人などを、今の水巻教会を紹介して既存の勉強会につなげ、それによって新しい勉強会の開催にもつなげていく。
- 6、抱僕の支援活動を充実させていく。

9月のおしらせ

★小倉教会献堂式献金★

献金 150,000円集まりました。

8月15日 小教区委員長の上川さんより小倉教会へ届けていただきました。

★新しいミサの式次第のための研修会★

日 時：9月11日(日)ミサ後

今後も第2日曜日に行います。

★敬老のお祝い会★

今年度もミサ後の集まりはありません。対象の方に、トラピストのクッキーをお渡しします。

★Facebook 説明会★

8月7日のミサ後に説明会を行いました。数人だったので、個別に説明をしました。今後、Facebookについてお聞きになりたい方は広報委員メンバーに気軽にお尋ねください。

人・ひと

【転出】お元気で！

◇橋本 泰行さん

富美さん ご一家

赤間地区から古賀教会へ